

平成30年度 高英研 第12回セミナー 『授業力向上ワークショップ』

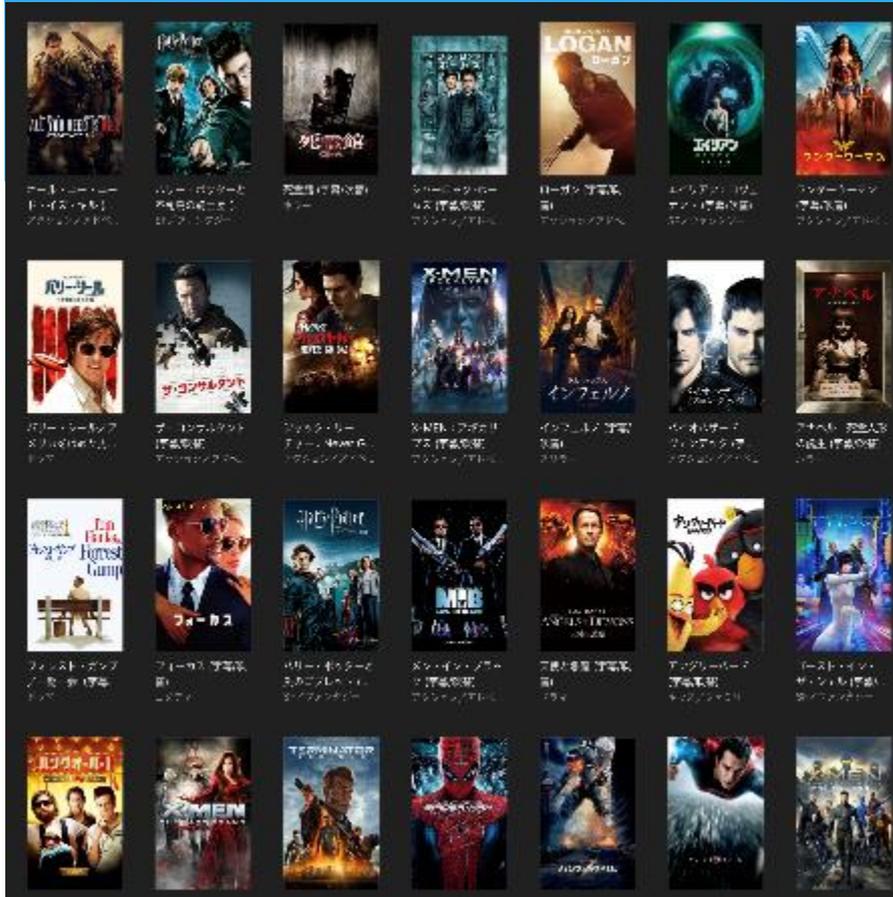
～「北海道から発信する新たな時代の英語授業:2020年に向けて」～

「話してから書く」「書くために話す」活動

～アウトプットの障壁を取り除く工夫～

Hokkaido Hiroo Senior High School
Takeru Sugisaki

Watching movies



Fishing



Soccer



**Nice to meet you
and nice to see you again.**

はじめに

内容について

1. 学校説明
2. 「話してから書く」活動について
3. 実践事例紹介

はじめに

4. **アウトプット障壁を取り除くために**
5. **その他の実践事例紹介**
6. **課題**

3 RULES FOR SPEAKING ENGLISH

1. Enjoy making mistakes.

2. Be self-confident.

3. Speak in a loud voice.

Let's introduce yourself to your neighbor

1. Audience : Participant near you
2. Reason : For ice breaking
3. Social conditions:
Two-way conversation

「話してから書く」活動導入の背景

1. 英検のライティング導入(2015:2級、2016:準2、3級)
2. 大学入試改革における4技能試験への対応
3. 次期学習指導要領における「話すこと」「書くこと」の強化 (発表、討論・議論・交渉等)
4. 「話すこと」= production(準備して発表) + interaction(やりとり、即興性)

「話してから書く」活動について

1. スピーキングにおけるやりとり、即興性を育成
2. 暗唱からの脱却
3. 2技能の統合
4. 4技能試験(スピーキング・ライティング)対策

Speaking 試験について

1. Interview : 英検、TEAP、IELTSなど
2. Speech : IELTSなど
3. Discussion : 英検、TEAP、IELTSなど
4. Narration : 英検など

「話してから書く」活動の導入

導入について

- ① 帯活動(授業開始～10分程度) Warm-upとして
- ② 単元や課の最初やまとめとして
- ③ 活動を授業内容とリンクさせる工夫
 - 例: "vegetable factory"という単元であれば、"vegetable"をトピックに活動するなど

実践事例紹介①

*1年生:

Question & Answer & Share [Q→SA+EI]

→コミュニケーションのはじまり

Speaking test「Interview」スキルを養成

実践事例紹介②

* 1年生:

Question→Share→Speech

* Word counter使用

Speaking test「Speech」スキルを養成

実践事例紹介③

❖ 2年生: Who am I?

→ 描写 (Description)、説明の基礎

Speaking test 「Narration」スキルの基礎を養成

Speaking test 「Interview」スキルを養成

実践事例紹介④

❖ 2年生: Retelling

→ 描写 (Description)、説明の練習

Speaking test 「Narration」スキルを養成

実践事例紹介⑤

*3年生: Good points & Bad points
(2年前)

→自分の意見を表現する練習

Simple Debatingの練習

Speaking test 「Discussion」スキルを養成

アウトプットする際に伝えていること

4技能の捉え方： **目標 = コミュニケーション**

Listening:

相手を理解する = 難しい内容でも聞けるようにする

Reading:

相手を理解する = 難しい内容でも読めるようにする

Speaking:

相手に伝える = 理解してもらえるようにシンプルに話す

Writing :

相手に伝える = 理解してもらえるようにシンプルに書く

アウトプット障壁をとりのぞくためのルール

3 RULES FOR SPEAKING ENGLISH (安河内哲也氏より)

1. Enjoy making mistakes.

→ 間違っても、恥ずかしくないという雰囲気をつくる。

2. Be self-confident.

→ 生徒が自信を持てるような活動と評価(声かけ)

3. Speak in a loud voice.

→ 話者の発言に耳を傾ける雰囲気づくり

アウトプット障壁をとりのぞくためのルール

4. 生徒の言いたい内容を理解し、生徒の語彙レベル(もしくは+1)の英語で共有する
5. 自分(教師)自身もスキル向上の意識を持つ
 - * Echoing, Repeating, **Recasting**
 - * Rephrasing, Paraphrasing, Retelling, Summarizing
 - * Describing, Explaining
 - * Translating, **Verbalizing** など

その他の実践事例紹介①

Writing for fun

* Relay Writing

描いた絵を元にグループで1人1文ずつ書き、物語を作成し、完成したものを他のグループに紹介

Speaking test 「Narration」スキルを養成

その他の実践事例紹介②

Writing for fun

* 週末課題

毎回の小テスト(ユメタン10フレーズ中5フレーズ出題)で覚えた単語を用いて、Short storyを作成

Speaking test「Narration」スキルを間接的に養成

課題

1. CAN-DO リストの改訂 (CEFR に準じて)
2. 評価基準 (ルーブリック) の作成とパフォーマンス評価の教師間共有
3. 観点別評価方法の充実 (次期指導要領に向けて)
4. 大学入学共通テスト・外部資格試験への対応 (Listening, Reading)
5. グループディスカッションから意見集約、発表までの流れの円滑化
6. 週1回のALTの有効活用
7. 他教科との連携
8. 自分 (教師) 自身のスキルアップ

ワークショップへの参加ありがとうございました。